

平成25年度 東京海洋大学 公開講座 「鯨類学入門」

鯨類（クジラやイルカ）は陸上に起源を持つ哺乳類で、およそ5000万年前にカバ類に近い祖先から分化し、今では地球上のあらゆる水域に進出し、一部は海洋生態系の頂点に位置するなどユニークな生物群として繁栄してきました。また、鯨類は世界各地で古くから生物資源としても利用され、とりわけ我が国では独自の鯨食文化が育まれてきました。一方、近年ではその利用を巡って激しい対立が続き、IWC国際捕鯨委員会では毎年のように激しい議論が繰り広げられてきました。本講座では、鯨類はいかなる生物であるかを東京海洋大学が所蔵する標本群を用いてビジュアルに解説を行い、国内の専門研究者からその資源研究と資源管理の実態をわかりやすく講義いたします。また、捕鯨の歴史と持続的利用を巡る国際的議論をそれぞれ国内の第一人者から解説いたします。



ダイナミックに跳躍するザトウクジラ（PCCS：プロビンスタウン沿岸調査センター）

●実施期間 平成25年11月4日（月）、11月10日（日）、11月16日（土）の3日間

●プログラム（日程の入れ替えの可能性があります）

○ 講義

11月4日（月）

・10：30～12：00 「鯨の世界～その進化と多様性～」

東京海洋大学大学院教授 加藤 秀弘

陸上歩行性の哺乳類でありながら、水域に高度に適応した鯨類。その多様性や進化の過程から生物と環境の関係を探りつつ、人類と地球環境について考えてゆきます。

・13：00～14：00 「世界の群を抜く東京海洋大学鯨類標本群」

東京海洋大学大学院 博士研究員 中村 玄

東京海洋大学水産資料館が所有する世界最大のセミクジラ骨格や、抜群の多様性を持つ鳥羽山鯨類コレクションなどをわかりやすく解説します。

・14：00～15：00 「鯨ギャラリー、水産資料館見学」

東京海洋大学大学院 博士研究員 中村 玄

講義に引き続き、実際に鯨類標本をご覧頂きながら解説を行います。

※希望者のみ 15：00～16：00

フリートーク「鯨の不思議な生態」

東京海洋大学大学院教授 加藤 秀弘

ご希望の方を対象にマッコウクジラの不思議な社会生態、高度な潜水能力の秘密などユニークな生態を紹介します。また、質問にもお答えします。



世界最大と目される海洋大セミクジラ骨格

11月10日(日)

- ・ 10:30～12:00 「IWC 国際捕鯨委員会とは?～その管理戦略と課題～」

東京海洋大学大学院准教授 北門 利英

大型鯨類の資源管理を一元的に担っている IWC 国際捕鯨委員会の実態、そしてその管理戦略について諮問機関の科学委員会議長でもある講師からわかりやすく解説します。

- ・ 13:00～14:30 「鯨の生息数はどうやって調べるか？」

独立行政法人水産総合研究センター国際水産資源研究所外洋資源部長 宮下 富夫

現在世界のスタンダードとなった目視法による鯨類資源量推定法の実態について、演習を含めながら紹介します。

- ・ 14:45～16:15 「捕鯨の世界史の中での日本の特質」

一般財団法人日本鯨類研究所顧問 大隅 清治

様々な特徴を持つ世界の捕鯨史と比較しつつ、我が国の捕鯨文化の特異性を紹介します。

11月16日(土)

- ・ 10:30～12:00 「鯨類の持続的利用を巡る国際情勢と展望」

独立行政法人水産総合研究センター国際水産資源研究所所長 森下 丈二

豊富な国際経験を持つ講師より、多様に複雑化した鯨類資源の持続的利用を巡る情勢をわかりやすく解説し、今後の展望について分析します。

- ・ 13:00～14:30 「鯨類資源管理の変遷」

東京海洋大学大学院教授 田中 栄次

鯨類資源管理の変遷とその特徴を水産資源管理全般と比較しつつ、資源管理専門家の視点より解説します。

- ・ 14:45～16:15 「調査捕鯨の目指すもの～その実態と課題～」

一般財団法人日本鯨類研究所 理事長 藤瀬 良弘・海洋生態系研究室長 田村 力

一般には深く知られていない、国際捕鯨取締条約 8 条に基づく鯨類捕獲調査(いわゆる調査捕鯨)の実態について、調査担当機関の研究者より解説します。



IWC 国際捕鯨委員会年次会議の様子

※ 開講式及び閉講式・修了証書授与を次の日時で予定しています。

開講式 11月 4日(月) 10:15～10:30

閉講式・修了証書授与 11月16日(土) 16:15～16:30

●会場 東京海洋大学品川キャンパス 白鷹館2階 多目的スペース1
(東京都港区港南4-5-7)

●募集人数 100名(高校生以上の方を対象とします。)

●募集期間 平成25年10月7日(月)~18日(金)(必着)

※10月11日(金)17:00の時点で

- ・応募者が募集人数を超えた場合は募集を打ち切り、抽選により受講者を決定します。
- ・応募者が募集人数に達していない場合は以後先着順に受付します。

※受講の決定等は、別途ご連絡します。

●申込方法 郵送又はFAXの場合

「平成25年度 東京海洋大学公開講座 申込書「鯨類学入門」」に必要事項を記入の上、上記募集期間中に到着するよう下記「申し込み・お問い合わせ先」に郵送又はFAXでお申込ください。申込書は東京海洋大学ホームページからダウンロードできます。

電子メールの場合

①所属 ②氏名(ふりがな) ③年齢 ④住所 ⑤電話番号・FAX番号
以上を記載の上、下記メールアドレスあて送付願います。

※メールの件名を『平成25年度公開講座申込』としてください。

●受講料金 7,200円 高校生は3,600円

※受講決定等の連絡の際に、受講料金の振込方法をお知らせします。

※期間中1回の受講も可能ですが、受講料金は上記金額となります。

●申し込み・お問い合わせ

東京海洋大学総務部国際・研究協力課 研究協力係

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

TEL: 03-5463-4197 FAX: 03-5463-0359

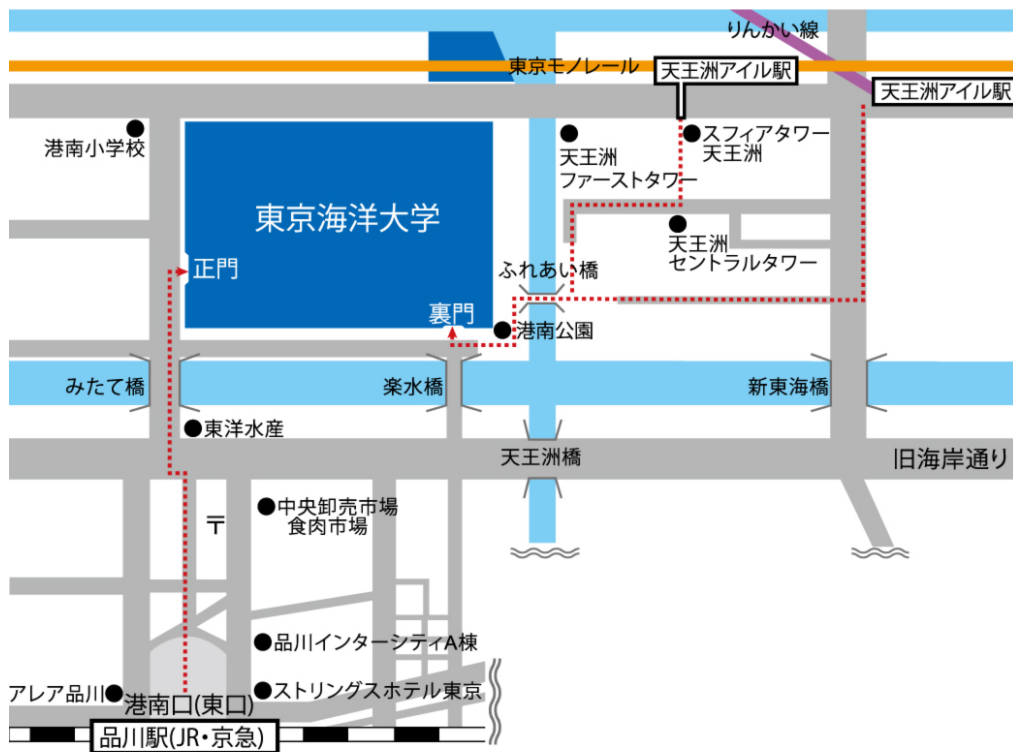
E-mail: kouza@m.kaiyodai.ac.jp

※東京海洋大学ホームページ: <http://www.kaiyodai.ac.jp/index.html>

●アクセスマップ

品川キャンパス

○会場の白鷹館（はくようかん）は正門を入れてすぐ左手の建物です。



- ・ JR 線、東海道新幹線及び京浜急行線「品川駅」港南口（東口）より正門まで徒歩 10 分
 - ・ 東京モノレール「天王洲アイル駅」からふれあい橋をわたり正門まで徒歩 15 分
 - ・ りんかい線「天王洲アイル駅」からふれあい橋をわたり正門まで徒歩 20 分
- ※品川キャンパスへは、公共交通機関を利用してご来場ください。